

研究業績リスト

学術論文

- [1] N. Nitta , K. Hagihara and T. Shiina ,
 ” Experimental Investigation of 3-D Blood Flow Velocity Measurement ” ,
 Jpn. J. Appl. Phys. Vol. 35 (1996) pp. 3126 - 3130.
- [2] N. Nitta and T. Shiina ,
 ” Real-Time 3-D Velocity Vector Measurement Using Weighted Phase Gradient Method ” ,
 Jpn. J. Appl. Phys. Vol. 37 (1998) pp. 3058 - 3063.
- [3] 椎名毅、新田尚隆、植野映、J.C.Bamber、
 ” 複合自己相関法による実時間 Tissue Elasticity Imaging ” ,
 日本超音波医学会誌 第 26 卷 2 号 (1999) pp. 57 - 66.

国際会議

- [1] N. Nitta, M. Yamakawa, T. Shiina, E. Ueno, Marvin M. Doyley and Jeffrey C. Bamber ,
 ” Tissue Elasticity Imaging Based on Combined Autocorrelation Method and 3-D Tissue Model ” ,
 1998 IEEE Ultrasonic Symposium Proceedings Vol.2 (1998) pp. 1447 - 1450.
 (October 7, 1998, Hotel Metropolitan Sendai, Sendai, Miyagi, Japan)
- [2] T. Shiina and N. Nitta ,
 ” A New Imaging Technique of 3-D Velocity Vector Distribution Using 2-D Phased Array Probe ” ,
 1998 IEEE Ultrasonic Symposium Proceedings Vol.2 (1998) pp. 1509 - 1512.
 (October 7, 1998, Hotel Metropolitan Sendai, Sendai, Miyagi, Japan)
- [3] N. Nitta , T. Shiina and E. Ueno ,
 ” Tissue Elasticity Reconstruction Based on Three-Dimensional Displacement Data Estimated by the Weighted Phase Gradient Method ” ,
 1999 IEEE International Ultrasonic Symposium Proceedings (*in press*) (October 19, 1999, Caesars Tahoe, Nevada, USA)

口頭発表

- [1] 新田尚隆、萩原一博、椎名毅、
 ” 3次元血流速度計測法の実験的検討”、
 第16回超音波エレクトロニクスの基礎と応用に関するシンポジウム、pp. 229 - 230、
 1995（於 筑波大、11 / 29）
- [2] 新田尚隆、椎名毅、
 ” 3次元超音波ドプラ法のシミュレーションによる特性評価”、
 電気学会医用・生体工学研究会、MBE 97 - 1、pp. 1 - 6、1997（於 市ヶ谷、2 / 7）
- [3] 新田尚隆、
 ” 乳房腫瘍の弾性特性の画像化”、
 第2回体表臓器の超音波所見の定量的評価に関する研究部会、1997（於 筑波大、10 / 4）
- [4] 新田尚隆、椎名毅、植野映、
 ” Combined Autocorrelation 法を用いた乳房腫瘍の弾性特性の画像化 ”、
 第70回日本超音波医学会研究発表会、70-315、pp. 496、1997（於 仙台国際センター、
 11 / 3）
- [5] 新田尚隆、椎名毅、
 ” 重み付き位相勾配法による3次元速度ベクトル空間分布の実時間計測 ”、
 第18回超音波エレクトロニクスの基礎と応用に関するシンポジウム、pp. 239 - 240、
 1997（於 千葉大、11 / 14）
- [6] 新田尚隆、椎名毅、
 ” 超音波によるリアルタイム組織歪み計測法の検討”、
 第11回日本 ME 学会秋季大会、1-E-10、pp. 96、1997（於 慶応大、11 / 20）
- [7] 新田尚隆、椎名毅、
 ” 超音波による組織弾性分布の画像化と腫瘍検出への応用”、
 日本音響学会春季大会、pp. 925 - 926、1998（於 慶応大、3 / 17）
- [8] 新田尚隆、椎名毅、
 ” 位相勾配法による3次元血流速度ベクトルの実時間計測”、
 第71回日本超音波医学会学術集会、71-Y2、pp. 92、1998（於 パシフィコ横浜、5 / 10）
- [9] 新田尚隆、椎名毅：
 ” 組織弾性特性評価のための3次元変位ベクトル推定法”、
 第72回日本超音波医学会学術集会、72-P264、pp. 673、1999（於 札幌市教育文化会館、6 / 23）
- [10] 新田尚隆、椎名毅：
 ” 3次元変位ベクトルに基づいた組織弾性特性推定法”、

第 20 回超音波エレクトロニクスの基礎と応用に関するシンポジウム、pp. 317 - 318、
1999（於 日本女子大、11 / 19）

[11] 新田尚隆、椎名毅：

”三次元変位計測による組織弾性分布画像化の実験的検討”、

日本超音波医学会基礎技術研究会資料、Vol. 99、No. 4、BT99 - 27、pp. 40 - 45、
1999（於 東北大、12 / 11）

受賞

[1] 電気学会論文発表賞（平成 10 年 3 月 31 日）：新田尚隆：

”3次元超音波ドップラー法のシミュレーションによる特性評価”、
電気学会医用・生体工学研究会資料、MBE-97-1、pp.1-6、1997.

[2] 日本超音波医学会第 71 回学術集会学術奨励賞（平成 10 年 5 月 11 日）：新田尚隆：

”位相勾配法による 3 次元血流速度ベクトルの実時間計測”、
第 71 回日本超音波医学会学術集会抄録集、71-Y2、p.92、1998.